



15 今年も元気に、新年初市

住吉神社境内で尾道浜問屋協同組合の新年初市が開催されました。

ちりめん、いりこなど40品目が出品され、威勢の良い声とともに競り合いが始まりました。

浜問屋協同組合の理事長、森川英孝さんは、「集まったものの質が素晴らしく、幸先の良い市だった。伝統だけではなく、今の時代に合ったやり方を取り入れていきたい」と語っていました。



18 自衛隊による防災教室

御調西小学校で、自衛隊広島地方協力本部の自衛官7人を講師に迎えて防災教室が実施されました。

4年生12人が参加し、現役自衛官から災害時の心構えなどについて学んだ後、毛布と竹を使った担架を作ったり、ほどけにくい紐の結び方を体験したりしました。参加した児童は「これから何か起きた時に役立てたい」と話していました。



121 サッカーを通じて国際交流

サッカー等を通じて日本と台湾の交流強化を目的に活動している「PRØJECT ONE」と、尾道市国際交流推進協議会によるサッカー交流会が開催され、市内の少年サッカークラブ5チームが参加しました。会場の東尾道市民スポーツ広場には、尾道市立大学サッカー部の部員16人も手伝いに来てくれました。

「PRØJECT ONE」の一員で、台湾リーグAC TAIPEI 所属の一柳夢吾選手によるサッカー教室と交流戦が行われ、最後には参加した子供たちへ台湾バナナが配られました。



126 火災から文化財を守る！

1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、持光寺で文化財防ぎょ訓練が実施され、消防局職員や消防団員、寺院関係者など約40人が参加しました。

本堂から出火し延焼した想定で訓練が行われ、文化財の搬出や、参拝中の観光客の避難誘導、初期消火や消防車による放水などを行いました。持光寺の松岡住職は「当寺の文化財は持光寺だけのものではなく、尾道市の皆さんで守ってきた共有財産ですので、次の世代に引き継いでいきたい」と話していました。